

【私の子ども観】



子どもはダイヤモンド

夢と希望

園長 岩崎 昇

令和5年が開幕しました。新年、あけましておめでとうございます。皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。冬休みは短期間ですが、節目となる期間で様々な行事のある時です。子どもたちはご家族の中で、年末年始の意義をとどめたことと思います。

さて、年末年始にかけ、国内で話題を集めたものには、スポーツの大会があったと思います。12月にはサッカーワールドカップです。サッカーのオフサイドのルールがわからない、といった声をよく聞きますが、そのような方でも今大会の日本の活躍はご存じではないでしょうか。12月の全校朝会で子どもたちに聞くと、8~9割がサッカーワールドカップを知っていました。ご多分に漏れず私も、日本戦を初め決勝戦はLIVE観戦をし、熱狂して応援をしていたものです。過去の日本チームの力量を知っているものとしては、ここまで成長するのかと、本当に驚きました。強豪ドイツ、スペインを破ったことは、ラグビーのワールドカップで南アフリカを破った時と同様の感動を得ました。日本人が世界と互角に戦える、いや世界のトップクラスに入ることができる、そんな大きな希望を与えてくれるものでした。また、野球に目を向けると、ヤクルトの村上選手の活躍です。最年少三冠王、日本人最多本塁打新記録達成と目に余る活躍、そして破格の契約更新。サッカー好きや野球好きの子どもたちにとっては、将来の夢や希望が大きくなったことでしょう。選手の方々には、そのような夢と希望を子どもたちに開いてくれたことに感謝したいと思います。また、年末年始には、高校サッカー、高校ラグビー、駅伝、バスケットボールなどの大会がありました。スポーツに限らず、様々な場面で活躍する先輩や大人たちを見て、子どもたちは夢と希望を抱きます。素晴らしいもの、良いものに触れさせていくこと、これは大人たちの役目ではないでしょうか。

しかし、このような選手の活躍は一朝一夕になせるものではありません。筆舌に語れぬ努力と格闘があったればこそと容易に想像できます。子どもたちには、大いなる夢と希望を抱くとともに、強い心を築き、負けない自分へと成長することを望むばかりです。3学期も学習、生活、その他の活動を経る中で子どもたちの成長をしっかりと支援してまいります。

今月の保育のねらい

<3歳児：ひよこ組>

- ・室内や戸外で、友達と一緒に体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- ・遊びの中でいろいろなイメージを膨らませながら、ごっこ遊びを楽しむ。



<4歳児：こあら組>

- ・自分らしく表現したり、友達と一緒に表現したりしながら、学級で一つのことに取り組む楽しさを感じる。
- ・季節の遊びに触れる中で、友達と言葉のやり取りをすることを楽しむ。

<5歳児：いるか組>

- ・自分なりの目標をもち、繰り返したり試したりしながら力を発揮しようとする。
- ・園生活に見通しをもち、自分から進んで遊びや活動に取り組む。